

平成 23 年 6 月 7 日 00017 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804

Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター 【北見柔道連盟情報】

マルちゃん杯北海道少年柔道大会実行委員会開催

・マルちゃん大会の第 2 回実行委員会が 6 月 1 日(水)午後 7 時に開かれました。大会は 7 月 24 日(日) 9:00(開会式)アクスゲートネクサス北見体育センターで行なわれ、今回が 4 回目で、実行委員も経験者が多く手馴れた作業と実施計画の打ち合わせをしていました。第 3 回実行委員会は 7 月 7 日を予定していて、北海道柔道連盟・東洋水産株式会社とのすり合せ作業や具体的準備に入ります。



【道場訪問】北見警察道場で特訓組猛稽古

・毎週火曜日の午後 6 時 30 分から午後 9 時まで北見練心会の小中学生が元気よく汗を流していました。6 月 18・19 日(土・日)佐呂間町武道館で開かれる第 33 回中体連網走地区柔道大会と 7 月 24 日(日)に北見市のアクスゲートネクサス北見体育センターで第 25 回マルちゃん杯北海道少年柔道大会に向け熱心に練習をしていました。

《キャプテンの村上耕太くんに抱負を聞きました》



「先ず今月の地区中体連で優勝し全道大会に出場することです。次に 7 月のマルちゃん大会で全国大会出場することです。」と力強く伝えてくれました。

東日本大震災支援ボランティアに参加

陸前高田市(中ノ沢)



5 月 2 日からボランティアセンターで受付、保険に加入し現場へ向かい作業を開始しました。個人の家ですが、ほとんどが津波により他から運ばれた瓦礫は凄い量で手伝いの人は汗を流しながらの作業となりました。約 4 日間被災地にいましたが余震が震度 3 程度で 3 回位あったものの不安をよぎるような揺れはなく、被災から約 2 ヶ月経過する現在、いまだ高田市では道路の確保のみで瓦礫や車の処理はほとんど手付かずの状態、これから夏を迎えるのに疫病発生心配や後片付け等先の見通しが立たない状況下で不安がよぎる状況です。いずれにしても、国と行政が被災者に対して、安心して普通の生活に戻れるように早急な復興の手立てを期待します。5 月 4 日、今回の目的を果たし帰路につきました。今回の震災、大津波によって多くの犠牲者が出てしまいました。亡くなられた方には心よりご冥福をお祈りし、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。少しでも早い復興と復旧を心から願い被災地を後にしました。「合掌」(北見道院 宮末政則)